

イラン・イスラーム共和国書店案内 ——コム編——

黒田 賢治*

I. はじめに

コムはカージャール朝期に王朝によってファーティマ・マアスーメの聖廟が増築され、イラン国内の重要な参詣地の一つとなった。加えて、1920年代に当代の大学者ハーエリー・ヤズディー(‘Abd al-Karīm Hā’erī Yazdī d. 1934?)が招聘されて以来、コムはシーア派の学術都市としての重要性を増していった。こうした参詣地また学術都市としての重要性をもつコムでは、数多くの宗教関係の出版社や書店が立ち並ぶ。そこには、法学校のテキストとして用いられている書籍や法学やシーア派の歴史についての研究書と言った専門書から、信徒の心構えを教育するような一般書や絵本の類まで幅広く取り揃えられている。

コムの書店は平日にあたる土曜日から木曜日にかけて営業しているものの、午後1時から午後4時まで昼休みをとる店が多い。ほとんどの書店は、午前9時から午後1時までが午前中の営業時間、午後4時から午後8時半までが午後の営業時間である。金曜日の集団礼拝後、午後の営業を行う店舗もある。

以下では、筆者が2010年1月・2月に行った現地調査を元に、コム市中心部ファーテメ・マアスーメの聖廟から半径1km以内に位置する、100以上ある書店のなかから、使い勝手のよい書店のみを紹介する。なお研究のための資料、および学術雑誌等については、市内各所に点在する大小130以上ある図書館にも所蔵されているが、それについては別稿に譲りたい。

II. 書店案内

A. エラム通り／マルアシー・ナジャフィー通り (Khiyābān-e Eram/ Khiyābān-e Mar‘ashī Najafī) およびホッジャティーエ通り (Khiyābān-e Hōjjatiye) 周辺

エラム通り周辺には、参詣客を対象としたようなドゥアー (Du‘ā) 集やクルアーンを扱った書店から、法学生向けの法学書やハディースを扱った書店まで幅広い。またエラムホテル傍の路地 (Kūche-ye Ark) を直進し、突き当りをモアッレム通りへと進むと、バイルート出版およびナジャフ出版のアラビア語書籍を扱った書店が多い。

A-1. 本の庭園本店 (Būstān-e Ketāb, Forūshgāh-e Markazī)

コム、テヘラン、エスファハーン、そしてマシュハドに支店をもつ大型書店の本店。殉教者広場 (Meydān-e Shohādā’) の北東に位置し、コム・ハウゼ布教局 (Daftar-e Tabliḡhāt-e Eslāmī-ye Hōwze-ye ‘Elmī-ye Qom) の前にある。コーランやハディースと言った宗教書から、歴史や政治

* 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科

の研究書、コム出版の学術雑誌類も取り扱っている。コムにある書店の中で店舗面積が最も大きく、品揃えも多い。加えて昼休みがなく、使い勝手が良い。また出入口を出て、コム・ハウゼ布教局に面した反対側にある店舗では『ハウゼ(Howze)』や『法学(Fiqh)』といった学術雑誌やハディース類がCD-ROM化されて販売されている。なお販売されている雑誌等のCD-ROMは、英語あるいはペルシア語バージョンのWindowsを使用する必要があり、日本語バージョンのWindowsでは文字化けしてしまうので注意されたい。



A1. 本の庭園本店

A-2. マルアシー・ナジャフィー書店 (Ketābforūshī-ye Mar‘ashī Najafī)

エラム通り(現・マルアシー・ナジャフィー通り)に位置し、マルアシー・ナジャフィー図書館に隣接する書店。コムやバイルートで出版されている法学書やハディース、また法学者列伝などを扱っている。またマルアシー・ナジャフィー関連の著作物を扱っている。



A2. マルアシー・ナジャフィー書店

A-3. ターハー書店 (Ketāb-e Tāhā)

『ソハン(Shōhan)』などペルシア語のレファレンス、現代小説などをはじめとするテヘランで手に入る一般書も取り扱っているが、コム以外ではあまりお目にかかれないシーア派の歴史書、また現代のシーア派についての研究書類が取り扱われている。現代のシーア派についての研究書は、イランだけでなく、南アジアやアラブ諸国に関する研究書もある。基本的には、ペルシア語の書籍だけを取り扱う。またテヘランやコムで出版されているイスラーム事典も取り扱っており、筆者は同書店で1998年から作成されているイスラーム大事典『イスラーム世界辞典(Dāneshnāme-ye Jahān-e Eslāmī)』を購入した。



A3. ターハー書店



A2. ムスタファー書籍販売代理店

A-4. ムスタファー書籍販売代理店 (Namāyeshgāh-e Dā'emī Ketāb al-Muṣṭafā)

ムスタファー国際大学出版局の販売代理店で、法学や哲学関係の書籍を扱っている。ペルシア語やアラビア語の書籍に関しては、それほど品揃えがいいとは言えない一方で、英語、タジク語、ベンガル語、ウルドゥー語の法学や哲学の翻訳書が販売されている。また理由はわからないが、スペイン語への翻訳書が最も多い。

A-5. イスラーム文化と理解研究所出版局 (Sāzmān-e Enteshārāt-e Pajūheshgāh Farhang va Andīshe-ye Eslāmī)

イスラーム文化と理解研究所 (Pajūheshgāh Farhang va Andīshe-ye Eslāmī) の出版局である。イスラーム政治、イスラーム経済、イラン・イスラーム革命、イスラーム哲学などの研究書を取り揃えている。また人権や女性の権利について法学者が執筆した雑誌類を扱っており、バックナンバーの品揃えも良い。筆者は同書店で革命期の左派勢力に関する研究書を購入した。



A5. イスラーム文化と理解研究所出版局

A-6. ワッラーク書店 (Maktaba al-Wallāq)

エラム・ホテルのすぐそばの路地 (Kūche-ye Ark) を直進し、突き当りのホセイニーエの右側の地下にある書店で、イマーム・フーイー出版 (Enteshārāt al-Imām al-Khū'ī) の看板が目印である。地下の奥のスペースがイマーム・フーイー出版で、フーイーの関連書籍を取り扱っている。また地上にも別に書店がある。バイルートで出版されたシーア派史、また現代の法学者の研究書などがそろっている。



A6. ワッラーク書店

A-7. アンサール出版 (Enteshārāt Anṣāriyān)

クルアーンや一般信徒向けに書かれた信仰の手引書などの翻訳書が販売されている。翻訳される言語には、英語、ロシア語、スペイン語、ウルドゥー語などがあり、ほんの数冊ではあるが、日本語に翻訳された書籍も販売されている。また後述するように、書籍発送の代理を行っている。



A7. アンサール出版

B. エルサレム・モール (Pasāj Qods)

Pasāj Qodsは「パサージュ・ゴツ」と発音される。マルアシー・ナジャフイー書店に通りを隔てた向かい側にある建物のことである。エルサレムにある岩のドームの写真を看板に掲げているのでわかりやすい。内部は3F～B2までである。モールのなかには、大小30あまりの書店があり、そのほとんどが宗教関係の書籍を取り扱っている。

B-1. モスタファー書店 (Ketābforūshī-ye Moṣṭafā)

エルサレム・モール内にある多くの書店同様、マドラサでテキストとして用いられる法学書や参考書類を扱っている。アラビア語—アラビア語辞典である『ムンジド (*al-Munjid*)』なども取り扱っている。品揃えは、それほど豊富とはいえない。しかし店主のモスタファー氏に法学関係の書籍について尋ねれば、周辺の書店から集めてきてくれるので、自分でエルサレム・モール内を一軒一軒回るよりも効率がいい。

B-2. ズル・カルビー出版 (Enteshārāt-e Dhū al-Qarbī)

ベイルートやナジャフで出版されたシーア派史の研究書、法学の研究書を取り扱っている。またナジャフ出版の書籍も取り扱っている。研究書関係で言えば、エルサレム・モール内で最も品揃えが豊富である。またしばしばイラク系の法学者も訪れるので、情報交換の場としても役に立つ。ただし若干であるが、他のベイルート出版の書籍に関しては、他の書店よりも割高である。

B-3. 法学の館書店 (Maktab Dār al-Fiqhī)

名前の通り、シーア派法学に関する書籍を扱っており、主にベイルートで出版された書籍を取り扱っている。エルサレム・モール内でハディースも含めた法学関連書籍を扱う書店としては、もっとも品揃えがよい。また『シーア派の貴顕 (*A'yān al-Shī'a*)』なども取り扱っている。



B1. モスタファー書店



B2. ズル・カルビー出版



B3. 法学の館書店

B-4 アブー・ジャアファル書店 (Ketābforūshī-ye Abū Ja'far)

店内には、ベイルート出版の法学書やハディースまたカイロ出版の法学研究書が並んでいる。店主のアブー・ジャアファル氏に依頼すれば、独自の書店ネットワーク、またイラク人ネットワークを介して、様々な書籍を探してくれる。筆者の知人の一人は、同書店で貴重なイラクの政党の機関紙を依頼し、入手した。ただしアブー・ジャアファル氏と交渉するならば、ペルシア語ではなくア

ラビア語で交渉したほうがスムーズである。

C. ハラムおよびゴザルハーン周辺

アラブ人のバーザールとも呼ばれるゴザルハーンには、八百屋や肉屋など食料品を取り扱う商店が軒を連ね、往来する住民や参詣者同士が繰り広げる喧騒は、ペルシア語というよりも、アラビア語が中心である。そのなかに幾つか書店があり、多くの書店はアラビア語書籍を取り扱っている。

C-1 知識の大洋書店 (Ketābforūshī-ye Baḥr al-‘Ulūm)

ゴザルハーンではなく、マアスーメの聖廟のあるハラムの脇に位置する書店で、やはりハラム周辺の書店同様に宗教関係の書籍を取り扱っており、専門的な法学書から法学権威が一般向けに書いた信仰の指針といった法学関係書籍が並んでいる。しかし販売書籍の回転率の早い一般的なコムの書店に比して、比較的古い書籍も扱っている。そのため物故した法学権威の指針の書なども手に入る。



C1. 知識の大洋書店

C-2 レザーの館書店 (Ketābforūshī-ye Dār al-Reẓā)

ベイルート出版のアラビア語のシーア派関連書籍を扱っている。品揃えは、法学権威が一般信徒向けに記した『正しき者たちの道 (Minhāj al-Ṣāleḥīn)』やシーア派史、法学者の人名辞典などが中心である。

C-3 ムハンマド・アミーン書店 (Maktaba Muḥammad al-Amin)

アラビア語書籍を取り扱っており、コムでは珍しくベイルートだけでなく、カイロで出版されたシーア派関連書籍を多く取り扱っている。基本的には宗教関係書籍を扱っており、イマームの殉教伝などが多い。カイロで出版された書籍に関しては、シーア派の概説書の類が多い。日にもよるが、午後の営業時間の店番にはペルシア語が通じないこともあるので、注意が必要である。アラビア語が堪能でないならば、午前中の営業時間に行くことをお勧めする。



C2. レザーの館書店



C3. ムハンマド・アミーン書店

C-4 アミン書店 (Maktaba al-Amin)

正確に言えば、特に名前はなく、アミン書店が管轄している路上販売の一種である。東屋の中には、法学書や革命後に作成された宗教関係のリーフレット類など宗教関係の書籍が雑然と山のようになり上げられている。ただ宗教関係の書籍だけを専門的に扱っているわけではない。筆者は、ここでクウェイトの寿命統計資料や革命後にモジャーヘディーネ・ハルク (Mojāhedīn-e Khalq) が作成した書籍なども見つけることができた。アミン書店の店主によると、個人所蔵や閉館になった図書館から書籍を集めてくるために様々な書籍を扱うことになっているのだと言う。またイラクなまりのペルシア語を話すアミン書店の店主に依頼すれば、イラク出版の古書も集めてくれる。



C4. アミン書店

C-5 ザーヘディー書店 (Ketābforūshī-ye Zāhedī)

ゴザルハーンのバーザールの喧騒を掻き分け、エングラーブ通りをハラム側に曲がってすぐのところ面にしている。アラビア語の法学書に加え、ペルシア語の人名辞典なども扱っている。ザーヘディー書店と同一の建物内には、ほかにもアラビア語の法学書を扱ったマハッラーティー書店 (Ketābforūshī-ye Maḥallātī) など、幾つかの書店がある。ゴザルハーンから直通の入り口もあるのだが、わかりづらいので目安としてザーヘディー書店のみを記した。店主



C5. ザーヘディー書店

ザーヘディー氏は温厚で、何かと書籍に関して相談に乗ってくれる。またアラビア語圏の法学生もしばしば訪れるので、法学書関係の書籍について相談場所としての役割も担っている。

D. その他

D-1 有識書店 (Ketābforūshī-ye A'lamī)

レバノンで出版されているハディース類を中心に取り扱いしている。

D-2 エスラー出版 (Enteshārāt-e Esrā')

ジャヴァーディー・アーモリー (Javādī Āmolī) 関係の出版物がそろっている。あまり他の書店には流通していないようで、同書店でしか買えない書籍が多い。同師のファトワー集やイスラーム

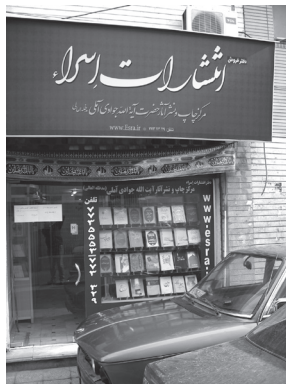
の文脈で環境問題やエコロジーについて論じた『イスラームと環境 (*Eslām va Mohīt-e Zīst*)』と言った書籍が並んでいる。また幾つかの書籍については、CD-ROM 化されて販売されている。

D-3 エマーム・ホメイニー研究所出版 (Enteshārāt-e Mo’assese Emām Khomeynī)

エマーム・ホメイニー研究所 (Mo’assese Emām Khomeynī) の出版局にあたり、研究所長メスバーフ・ヤズディー (Meṣbāḥ Yazdī) の書籍が多い。神学とファルサファを不可分に論を構築する新神学 (Kalām Jadīd) 関連書籍といった専門書から、一般向けに書かれたシーア派史、またイラン・イラク戦争で死去した兵士に関する書籍類が並んでいる。この界限には、他にもアラビア語、ペルシア語の出版局が並んでおり、多くは法学書とハディースを扱っている。



D1. 有識書店



D2. エスラー出版



D3. エマーム・ホメイニー出版

Ⅲ. 書籍の輸送について

コムの書籍を輸送する方法には、輸送を代行する書店から郵送するか、あるいは郵便局から輸送するかの二種類がある。航空便か船便かの選択肢があり、後者のほうがはるかに安価であるものの、時間がかかる上に、輸送状態もよくない。航空便で送る方がよい。下記の輸送費も航空便で送った場合の費用を記載している。

コムでは海外に小包を送る場合、街の中心から離れた中央郵便局まで行かなくてはならず、加えて午前中しか取り扱っていないことに注意されたい。国際向けの書籍郵便は、正面玄関に入ってすぐのところにある、通常の郵便物やエアメールを扱った窓口とは異なる。正面玄関に入って右側に進み、通常の郵便物を扱った窓口の裏側を通り過ぎた後、一旦外に出た左手側にある。郵便局で輸送する場合の手順は以下の通りである。

- ①中央郵便局の小包係に行き、係員に郵送する品目が書籍だけであることを確認してもらう。
- ②組み立てられた箱を渡されるので、自分で梱包する。ただし箱はテヘランの郵便局で送るのは異なり、A4 サイズまでの書籍は入るものの、底がそれほどの大きくないため、縦に長い大型書籍の場合、箱を二つ用いて、一つの箱を蓋代わりにする。B4 サイズ以上の大型本および、1冊だけ送りたい場合は、係員に言えば、梱包してくれる。
- ③梱包し終えたら、箱の両側に送り元と送り先を記す。少なくとも油性マジックを持参した方

がよい。ボールペンでは、書きにくい上に、穴が開いてしまう。最もよい方法は、送り先と送り元を記した名刺サイズのラベルシールをあらかじめ用意しておくことである。

- ④日本でよく大型の家電製品荷造りなどに使われている荷造り紐をとめる機械が据えられているので、自分でとめる。使い方が分からなければ、係員に聞けば教えてくれる。誤って、自分の指を荷造り紐に巻き込まれないよう注意したい。
- ⑤係員に言い、送り状をもらい、送り元の住所と送り先の住所を書く。この送り状は、清算後に係員が箱を個別に包む袋につけられる。送り状はボールペンでも書けるが、書きにくい。この際、荷物のバーコードシールが貼れるスペースを空けておく必要がある。そのため、名刺サイズのラベルシールを利用するならば、3分の2の大きさ程度に宛名を記し、余剰分を切り取る必要がある。また宛名をビニールテープで保護する必要もある。テープは係員に言えば借りることができる。
- ⑥係員に計量してもらい、清算する。一つずつ自分で秤に載せ、係員が重さを箱に記した後、その指示に従い、係員が重さを記した側が上向きになるように箱を並べ置く。清算が済むと、係員から荷物のバーコードシールを貼った伝票を受け取り、作業が完了する。

コムから海外に書籍が送られることが多いため、係員もなれており、比較的スムーズである。荷物は1週間から10日ほどで届く。少なくとも筆者の経験では、これまで送った荷物は必ず届いている。2010年2月26日に筆者が同郵便局から日本に発送したところ、1kgあたり50,731Rls(≒466円)であり、箱代は一箱3,500Rls(≒32円)であった。

他方、書店から郵送すると、梱包や宛名状などの手間が省け、書店の付近で郵送でき、時間的な融通がきく。手間が省ける分、当然ながら、料金が若干割高になる。書籍の海外への郵送を代行してくれる書店に、アンサー出版がある。アンサー出版で購入した書籍はもちろんのこと、持込の書籍も郵送してくれる。筆者の知る限り、郵送代理店の中で最安値である。2010年1月23日に筆者が書籍を郵送したところ、1kgあたり60,000Rls(≒552円)であった。ただし秤が置かれているものの、しばしば故障しているので、店員が感覚で重さを量る。そのため実際よりも、若干重め目の金額を請求されることがある。

両替

念のため、コムでの外貨両替について記したい。ゴルバーイエガーニー通りにあるイラン国民銀行(Bank-e Mellī Īrān)のコム中央支店で両替が可能であるが、それよりもハラムの広場に面したエラム通り、ゴザルハーンへの入り口付近にある私設両替所を利用した方が便利である。換金レートはほぼ銀行と同じである。この周囲では闇両替人がしばしば声を掛けてくるが、周囲にある私設両替所よりも換金レートは悪い。

両替をするに当たっては、以下のことを注意されたい。日本円からの両替も可能であるが、換金レートが非常に悪い。USドルを使用するのが妥当である。また幾つかの私設両替所ではUSドルも1ドル札から20ドル札と50ドル札および100ドル札とでは、前者の方が1ドル当たり500リアルほどの安く換金されるので注意が必要である。

IV. おわりに

コムでは、様々な宗教関係の書籍が販売されており、それらは二種類に分けられる。第一にコム

で出版された書籍であり、法学書やハディースがアラビア語であることはさることながら、研究書に関してもイランの公用語であるペルシア語の書籍だけでなく、アラビア語の書籍も多く出版されている。さらには英語、ウルドゥー語、スペイン語といった言語に翻訳された書籍も出版されている。他方、コムに移住したアラブ系住民によってナジャフ、バイルート、カイロで出版された書籍を扱う店も多く、法学書やハディースといった法学校で用いられるテキストやレファレンス類だけでなく、シーア派の歴史や法学についての研究書なども扱う。また店頭には並べていないが、雑誌類や政治組織の機関誌をも取り扱っている店もある。

コムの国際都市としての側面を支えているのは、一つにはイラン国内はもとより、各国から参詣に訪れる人々である。しかし需要がなければ、これほどまでに書籍が流通することはない。宗教関係の専門書を必要とする存在、つまりシーア派の一大学問都市としてのコムを抜きにして語ることはできないのである。おそらく、両者が同時に存在することで、現在のコムの書籍流通事情を形成しているものと思われる。

謝辞 本書店案内は、ラスール・ジャアファリヤーン氏（イスラーム議会図書館館長およびイスラーム史・イラン史専門図書館）、また同氏を筆者にご紹介くださった森本一夫先生（東京大学東洋文化研究所）を始めとした方々のご好意がなければ作成できなかった。特にアバー・ザッリー氏（イスラーム史・イラン史専門図書館司書）は、コムの右も左もわからない筆者を、様々な書店を紹介するために連れて歩いてくださった。それは、筆者にとってコムの書店を把握する上でこの上ない糧となった。ここに記し、謝意を示したい。

A. エラム通りおよびホッジアティーエ通り周辺



① Būstān-e Ketāb, Forūshgāh-e Markazī

営業時間：8:00 ～ 22:00

Tel：+98-251-7742155

② Ketābforūshī-ye Mar'ashī Najafī

営業時間：9:00 ～ 12:00, 16:00 ～ 20:00

Tel：+98-251-7741970

③ Būstān-e Ketāb, Forūshgāh-e Markazī

営業時間：9:00 ～ 13:00, 16:30 ～ 21:00

Tel：+98-251-7749990, 7747890

④ Namāyeshgāh-e Dā'emī Ketāb al-Muṣṭafā

営業時間：9:00 ～ 13:00, 16:00 ～ 20:00

Tel：+98-251-7839305 ～ 9

URL: www.miup.ir

E-mail: admin@miup.ir

⑤ Sāzmān-e Enteshārāt-e Pajūheshgāh Farhang va Andīsh-e Eslāmī

営業時間：8:00 ～ 12:30, 16:00 ～ 21:15

Tel：+98-251-7830627

URL: www.poiict.org

E-mail: info@poiict.org

⑥ Maktaba al-Wallāq

営業時間：9:00 ～ 13:00, 15:30 ～ 19:30

Tel：+98-251-7838212/ +98-912-4515581

⑦ Enteshārāt Anṣāriyān

営業時間：8:00 ～ 12:00, 16:00 ～ 20:00

Tel：+98-251-7741744 Fax：+98-251-7742647

URL: www.ansariyan.org, www.ansariyan.net

E-mail: ansarian@noomet.net, int_ansarian@yahoo.com

B. パサージュ・コドウス



① Ketābforūshī-ye Moṣṭafā

営業時間：8:30 ～ 12:30, 16:00 ～ 21:00

② Enteshārāt-e Dhū al-Qarbī

営業時間：9:00 ～ 13:00, 16:00 ～ 21:00

Tel：+98-251-7744663

③ Maktaba Dār al-Fiqhī

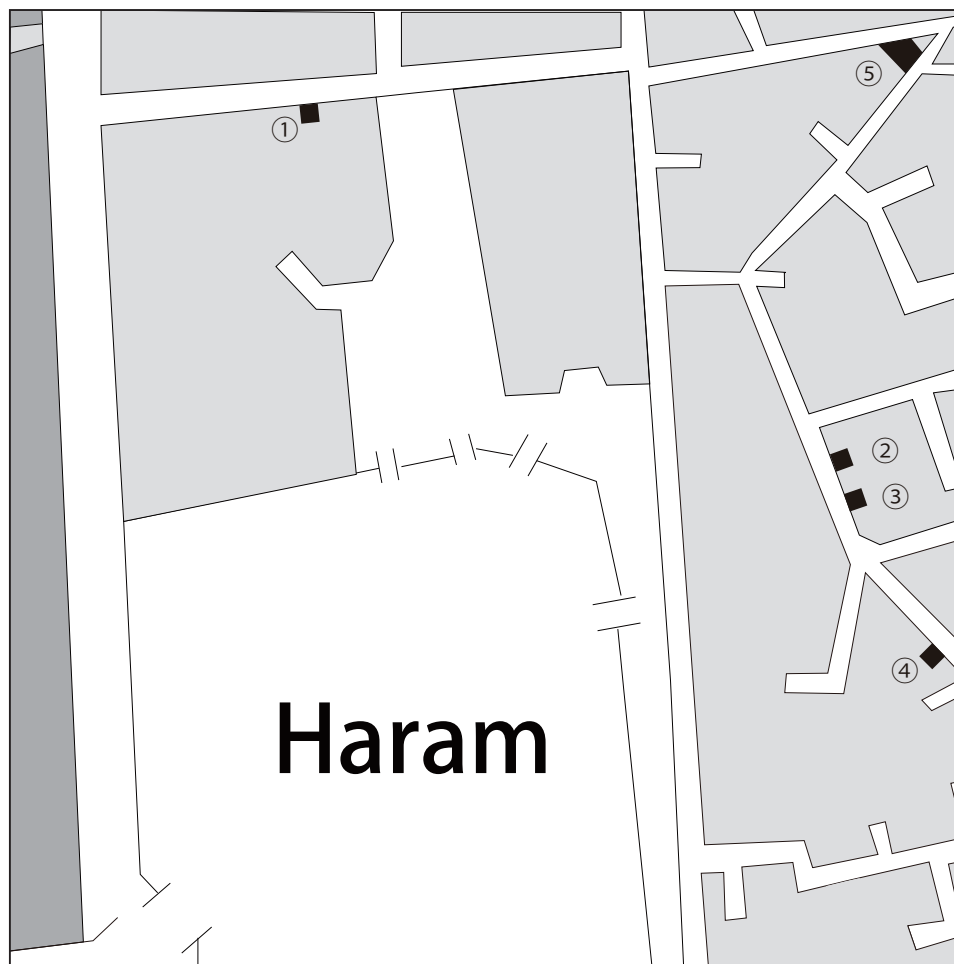
営業時間：9:30 ～ 13:00, 16:30 ～ 21:00

Tel：+98-251-7741692

④ Ketābforūshī-ye Abū Ja'far

営業時間：10:00 ～ 12:30, 16:30 ～ 20:30

C. ハラムおよびゴザルハーン周辺



① Ketābforūshī-ye Baḥr al-‘Ulūm

営業時間：8:00 ～ 21:00

Tel：0251-7740801

④ Maktaba al-Amīn

営業時間：9:00 ～ 20:00

② Ketābforūshī-ye Dār al-Rezā

営業時間：9:30 ～ 13:00, 17:00 ～ 20:00

Tel：0251-7739295

⑤ Ketābforūshī-ye Zāhedī

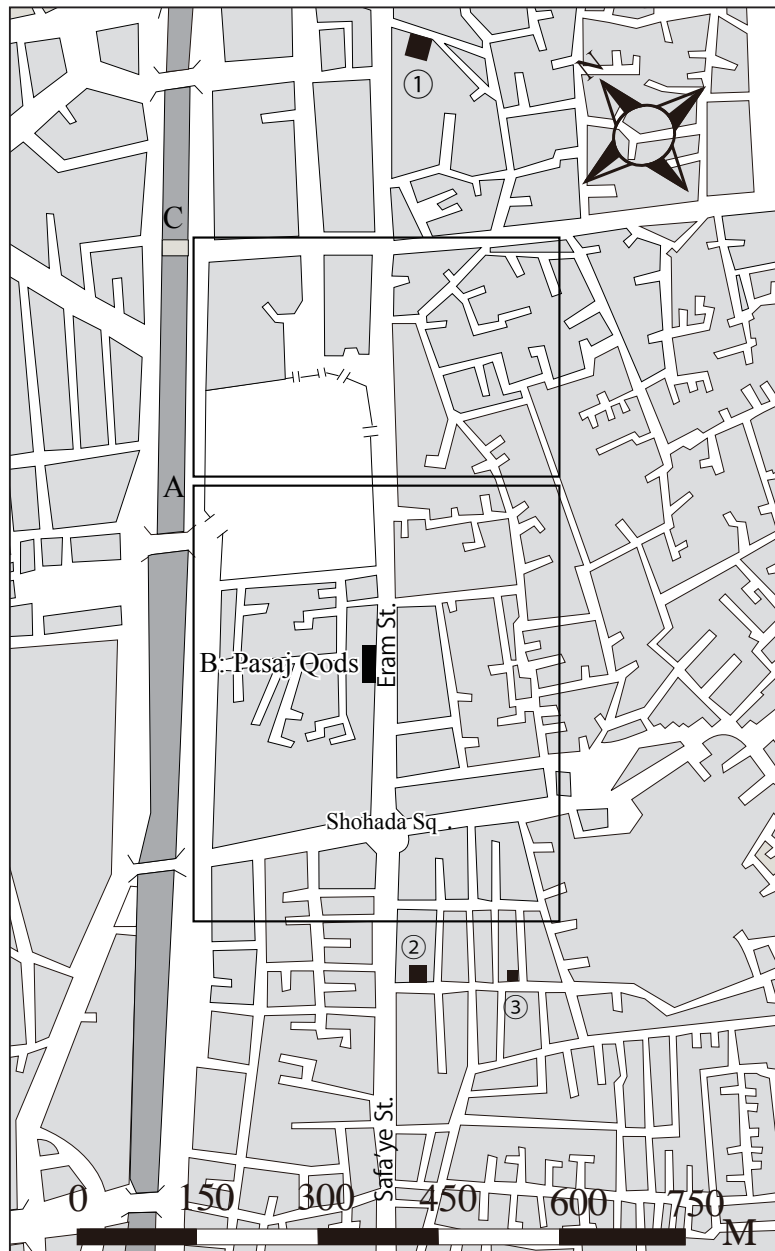
営業時間：9:30 ～ 13:00, 15:00 ～ 20:00

Tel：0251-7732276

③ Maktaba Muḥammad al-Amīn

営業時間：9:00 ～ 13:00, 16:00 ～ 21:00

D. その他 (全体地図)



① Ketābforūsi-ye A'lamī

営業時間：9:00 ～ 13:00, 16:00 ～ 20:00

Tel：0251-7714277

③ Enteshārāt-e Mo'assese-ye Emām Khomeynī

営業時間：8:30 ～ 12:00, 15:00 ～ 17:00

Tel：+98-251-7742326

E-mail: Publication@qabas.net.ir

② Enteshārāt-e Esrā'

営業時間：8:00 ～ 12:00, 16:00 ～ 20:00

Tel：+98-251-7735553

URL: www.esra.ir